

# 着陸帯移設地に ノグチゲラ営巣

東村  
高江 中馬重夫さん撮影

【東】米軍北部訓練場の一部返還に伴うヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)の移設が計画されている東村高江で、国の特別天然記念物ノグチゲラが営巣しているとみられる様子が確認された。十六日に中馬重夫さん(42)＝本部町＝が撮影した。

中馬さんは「つがいのノグチゲラが追いかけてくっついていて、一日中ノグチゲラの声が聞くことができました。トンボやトカゲなどをたくさん見ることができると生き物の宝庫」と話した。

沖縄防衛局は、ノグチゲラなど希少鳥類の繁殖期に当たるため、三月から六月までは工事を見合わせてい

るが、測量作業などは行っている。

ヘリパッドにいない住民の会の伊佐真次共同代表は「ヘリパッドが移設されれば、数が減っているヤンバ



ルクイナやノグチゲラの絶滅が現実のものになってしまふ。計画を白紙撤回すべきた」と訴えている。

リュウキュウマツで餌をついばんでいると見られるノグチゲラ＝16日午後、東村高江(中馬重夫さん提供)